

## 平成19年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	公立小学校で英語を教える指導方法とメンタリングを習得する実践コース		
法人名	学校法人エール学園		
学校名	専門学校エール学園		
代表者	理事長 長谷川 恵一	担当者 連絡先	長谷川 恵一 TEL06-6647-0011

### 1. 事業の概要

①5年生のための28レッスンに続き、二年次のテキストを作成することによって公立小学校英語に貢献する  
 ②平成18年度「女性再チャレンジ支援」に採択された「21世紀における自立型人間を育成する公立小学校5,6年生のための英語講師養成コース」で作成されたテキストを使って、実際に公立小学校で英語を教えられる人間力のある人材を育成する。今後他の専修学校でもこのような講座を実施し、公立小学校のための優秀な英語講師が育成されることを期待する。

### 2. 事業の評価に関する項目

#### ①目的・重点事項の達成状況

①「21世紀における自立型人間を育成する公立小学校5,6年生のための英語講師養成コース」では受講申し込み26人、実質参加受講20人(20代11人、30代10人、40代2人、50代3人(名簿DVD)。平成19年12月4日から平成20年2月7日までの150時間。成果:平成18年度に採択された「21世紀における自立型人間を育成する公立小学校5,6年生のための英語講師養成コース」で作成された「小学校5年生のための28時間のレッスンプラン」に基づき、高い英語力をもつ離職者の受講生が、小学校での1年目における指導方法、英語落語、MATメソッド、小学校のための絵本の読み聞かせなどのノウハウを習得した。またその指導案を通して受講生たちが、児童の心の中に「英語を通して社会と自分とのつながりに気づき、子どものときから社会に必要とされていることを認識し、自分自身、そして周りの人も大事にするという意識」を蒔いて耕すことのできる「人間力」を習得した。子育て中等の女性に対する配慮:保育完備・子どもの病気などの急な休講にはDVD対応。②平成19年8月18日から平成20年3月19日にかけて「テキスト作成委員会にて1年目のテキストの改良とともに、児童が習得した技能を駆使して英語を使いたいと思うような2年目のテキストを作成した。①と②の講座を実施することによって公立小学校で英語を教えられる人間力のある人材16人を育成した。

#### ②事業により得られた成果

①16人の修了生が実際に小学校で教える指導力を習得し、当面は民間の教室に就職(5人セイハ英語教室就職、1人ヤマハ英会話教室就職、5人自宅英会話教室準備、幼稚園英会話講師1人、その他就職活動中4人)している。②公立小学校に英語活動を導入する際に担任及び専科教員の役に立つ「小学校5・6年生のためのレッスンプランテキスト」を作成した。(221ページ冊子)③小学校英語活動のための講師養成コースを担う委員(7人)を育成できた。

### ③今後の活用

①本テキストを活用し、小学校の先生及び専科教員のための英語活動指導を実践していく。②離職者で英語能力の高い人材が、自分の教室運営を出来るように自立するのを手伝う。

### ④次年度以降における課題・展開

①公立小学校で本テキストを少しでも利用できるように活動していく。②子育てをしている20～30代の女性が安心して働ける条件を確保するために、ぜひとも公立小学校で働ける条件を整えていく。③本当に子どもたちに英語を使つてのコミュニケーションを教えたいと思う女性を掘り起こす方策を探る。

## 3. 事業の実施に関する項目

テーマ:公立小学校における英語活動指導案とその人材育成 期間:①12月3日～2月7日 ②8月16日～3月19日 受講者数:①26人申し込み中20人 ②作成委員会7人 就職先:民間英会話教室及び自宅教室準備12人 工夫した点:急な欠席にはDVD対応、人間力育成に必要なワークと面談、現在小学校英語活動で何が求められているかという研究。受講者反応:別紙受講者からのアンケートのコピー参照